

町屋さくら復活…移動の自由を考える

デマンド交通実証運行から見えてくるもの…「赤字補てんしない」など区の言い分が次々破たん

「ミバスもデマンド交通も自治体の負担なしでは運行困難 町屋さくら復活も区民の願いに寄り添って決断すべきです」

区は、7月3日から、「町屋さくら」ルートで相乗りタクシーを使ったデマンド交通の実証運行を開始しました。実証運行については、その効果や区民ニーズとの関係などしっかりと検証していきたく思います。しかし、今回の実証運行には、区が区民に説明すべきいくつかの重大な問題が含まれており、今回その問題について考えていきたく思います。

① 700万円の赤字補填 運行に補助しない方針は？

9カ月の実証運行は、車両借上費から人件費、システム費など約900万円の経費を見込む一方、運賃収入200万円（一日20人利用×300円×6000円）と想定、差額の700万円を区が負担するとしています。この問題を議論した第16回荒川



Table with 4 columns: 運行関連経費 (4,600千円), システム関連経費 (4,500千円), 運賃収入 (見込み) (2,100千円), 区の負担額 (見込み) (7,000千円)

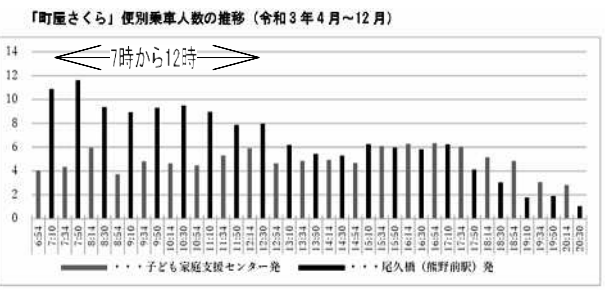


区地域公共交通会議の場で大森会長（宇都宮大教授）は「費用負担の考えの整理が必要」と指摘、区も「区の負担の考えを明らかにしていく」答えています。そうであるなら区は、費用負担はしないという「方針」に固執して町屋さくらを廃止した問題の再検討が必要だと思います。

Table titled '23区におけるデマンド交通実証実験の実施状況(4月現在)'. Columns: 自治体名, 実証実験の実施 実験期間. Lists various districts like 荒川区, 港区, etc.

② 現実を無視した実証運行 他区では実証で終わりに…

今回のデマンド交通実証運行にも大きな問題があります。利用は、会員登録と事前予約が必須で平日の10時から15時のみの運行です。区は、通院、買い物などが利用目的と言っています。しかし通院は、朝早く出かける方が多いのではないのでしょうか。実際町屋さくら運行時の乗客は、朝7時～12時がピークで、13時～15時の間は減少しています（左グラフ）。利用手続きの煩雑さとニーズ調査の不十分など見切り発車です。また他区で実証運行した結果を見るとその全てが、実証運行止まりで終わっています（上右表）。先行自治体から区は、何を学び検証したのでしょうか。



③ 「区内全域の公共交通」というなら全域に「ミバス」に費用負担するが（このように取り組みは、町屋さくらの代替えだけでなく、今後の区内全域の公共交通のあり方の検討に資すると考える」などと答弁（ゆいの会の質問）しました。真意は不明です。しかし区が本気で区内全域の公共交通というなら、区内全域の交通不便地域調査（鉄道駅、バス停から200m以上）運行経費に補助しない方針の撤回と区内全域の公共交通政策の策定、町屋さくらの復活を区の検討課題に入れるなど区民に寄り添った真摯な取り組みが必要です。

「まちの話題あれこれ」 銭湯500円から200円に値上げ…「ふろわり200」は据え置きしかし銭湯減少では使えません…銭湯維持に区の対策を求めました。7月1日から銭湯代が値上げになりました。区も公衆浴場燃料費助成の拡充を行いました。今回の値上げでも経営は大変です。70才以上を対象に200円で荒川区内の銭湯に入れる入浴カード（週一回年間52枚）が、一度登録すれば毎年3月に郵送されます。2008年5月から開始、09年に所得制限撤廃。銭湯代値上げでも本人負担額200円は変更していません。しかし銭湯がなくなつたのでは元も子もありません。この議会では銭湯の存続支援を区に求め



Advertisement for 横山幸次 区政通信. Includes contact information for the district council office and consultation room.

荒川区議会  
6月会議

# 区民の声を届ける補正予算の修正を提案 暮らしと命を守る切実な願い実現へ全力

## 日本共産党区議団が提出した補正予算修正案

### 特別支援学校児童生徒の給食費補助

区内で特別支援学校に通学している児童生徒は、現在114名。区内の公立小中学校は4月から給食費無償化になりましたが、都立支援学校・ろう盲学校は区立ではないと対象外。



小学部70,000円×80人、中学部80,000円×34人

予算額：合計832万円

### 家庭的認可保育園の定員割れ補助

荒川区は私立保育園の経営支援として定員割れの人数に応じて補助金を支給。しかし家庭的保育園(0才~2才児園/定員3人~5人)は除外。

同じ地域型保育事業の小規模保育園(0才~2才園/定員6人~19人)には支給。



@176,460円×5人/予算額：88万3千円

### 在宅酸素電気代補助



区内で在宅酸素治療患者は○障害手帳保持者で31名、○要介護認定者で150人前後その他を含め300人と推計

月々の高額な医療費もあり、電気代等の公的助成を求める声が以前から強い。

エアコンや加湿器、空気清浄機の使用で温度や湿度調節に気を配る必要もあり、昨今の電気代高騰で、ますます補助が必要。

3,000円/月×12×300人/予算額：108万円

### 高齢者障害者エアコン購入助成

熱中症対策として荒川区が2018年2019年に上限5万円326件の助成を実施。

今年も猛暑が言われている中で、早急に行う必要がある。前回と同様の助成を提案。



区は補正予算で省エネエアコン助成額を、区内店舗は3万円を5万円(本体購入価格の4分の1)に引き上げた。

@50,000円×100世帯/予算額：500万円

特別支援学校給食補助、エアコン助成など  
区長提案にない4項目の緊急支援実現求める

今議会の大きな焦点は、物価エネルギー高騰で苦しむ区民の暮らしと営業を応援する緊急対策でした。区は、約3億4千万円余規模の補正予算提出内容は、介護、子育てなど施設への物価高騰対策補助、保育料第2子無償化、プレミアム付きお買物券、省エネ家電購入助成額引き上げ、経済急変対応融資延長など緊急性もあり賛成です。同時に、日本共産党区

(左囲み一覧)

問われる議会の在り方は行政をエックと質問による政策提言や条例・修正案を議員が提出するなど積極的な提案で区民要望の実現に力を尽くすことです。総務企画委員会で齋藤くに子区議が補正予算修正案の提案説明を行いました。したが、他会派の委員は、一切の質疑もなく修正案に反対しました。賛否はもちろん自由ですが、やはり議論の府にふさわしい議論が期待されます。



くらし、子育て、介護、雇用…まず声をかけて下さい。解決の第一歩です

日本共産党区議団町屋地域生活相談センター  
(横山幸次区議事務所)

荒川区町屋5-3-5 TEL・FAX 3 8 9 5 - 0 5 0 4  
メール: kouji.office@gmail.com

留守の場合は、留守電か以下の電話にご連絡ください。

日本共産党荒川地区委員会 03 - 3891-6682

日本共産党荒川区議団 03 - 3802-4627

生活相談は、随時受け付けています。  
電話、メール、FAXなどでも結構です。

定例法律相談

毎月第1月曜・午後6時~8時

横山幸次区議事務所

8月の定例法律相談はお休みします。

次回は、9月4日(月)



私たちは住民のくらしと命を守るネットワークをもっています...いつでもご相談を

「定例法律相談」は月一回開催。弁護士だけでなく、くらし、子育て、医療、介護、雇用、税金など各分野の専門家、国会、都議会の共産党議員団とも連携し、ごいっしょに解決のために力をつくします。

## 今週のデータ 国民生活基礎調査2022年… 老老介護が63%を超えたが



7月公表の国民生活基礎調査で子どもとが報じられた。子が高齢化への政治的対応が厳しく問われていく。